

# 大地の恵みで特産品

## 帯広畜産大など視察

産官学連携で鳥取の食を国内外に発信するフードバレー構想を私は提唱し、県の主要施策に採用されています。私が所属する農林水産商工労働常任委員会では7月23日から25日にかけて、食をテーマに地域づくりを進める北海道の調査に出かけました。

翌日は帯広畜産大を訪問し、実習施設や産学共同施設などを見学。長澤秀行学



帯広畜産大の夢パン工場

北海道庁で産官学で食品産業や農業等を支える「食クラスター」、機能性食品開発を支援するフード特区について説明を受けた後、中札内村でチーズなどを生産している十勝野フロマー



十勝フロマーシユのチーズ工場

池田ブドウ・ブドウ酒研究所のシャンペン製造



長から大手食品メーカーとの協力関係などについて説

## 鳥獣被害対策で研究センターへ

県内で昨年度、約6千万円の鳥獣被害があったことを受け、常任委員会では8月22日、丹波市にある兵庫県森林動物研究センターを訪ねました。同センターは2007年に開所し、人と動

明を受けました。財政再建団体から立ち直るため、自治体で初めて醸造所を立ち上げた池田町ではブドウ・ブドウ酒研究所を見学。内藤彰彦所長から「年間4千万円の黒字を計上。これまでに25億円を一般会計に繰り入れた」とお聞きし、本

物の共存を目指して調査研究を進めておられます。土岡正洋センター次長らから、鳥獣被害対策①柵の設置②捕獲③誘引物の除去④環境改善⑤追っ払いの5つが基本と説明を受け、集落柵やブロック柵などの柵のモデルを見せていただき、参考になりました。

## 編集後記

鳥取市議会議員選挙が11月9日に告示されます。定数が32と4減つたのに対し、40人前後が立候補の準備しており、大激戦との報道がなされています。読者の皆様は、まず投票所に足を運んで下さい。投票は権利であると同時に義務でもあります。そして、同じ地域や団体、同窓生という基準ではなく、現職であれば議員としての4年間の実績と姿勢、新顔であれば提案と人柄を吟味して投票行動を決めていただきたいと思います。選挙結果を決めることが出来るのは有権者の皆様だけです。

## JRや商議所で新幹線効果聴く

高速交通網調査特別委員会は9月12、13の両日、九州新幹線の開通効果について県外調査しました。

JR九州では、2011

年3月に全線が開通すると、博多ー鹿児島中央間の乗客が3倍に跳ね上がり、ななつ星などが在来線のデザイナー特急も好評などという話をお聞きました。鹿児島商工会議所では岩崎芳太郎会頭が、建設期成

会の発足から40年を超える建設促進の動きを振り返り、「新幹線建設は政治そのもの」「新幹線がなかったら観光も経済もボロボロだったろう。フル規格で頑張った良かった」などと話されました。

## 砂場隆浩県政ひろば

〒680-0023 鳥取市片原1丁目107  
TEL 0857-50-0130/FAX 50-0641  
tottori-kodomo@olive.plala.or.jp  
<http://www.tottori-kodomo.jp>

県政へのご意見・ご不満をお寄せ下さい  
この紙面記載の記事は、下記のHPで詳しくご覧いただけます